

令和4年度 第21回 シニア地域活動入門講座(第5回)

日 時: 令和4年 11月 11日(金) 9:00 ~ 15:00

場 所: 日鉱記念館、旧共楽館、日立オリジンパーク

内 容: わが街日立の魅力再発見講座 2 (福祉バスで市内巡り)

○ 施設見学

案内: 日鉱記念館、日立オリジンパークは自由見学。旧共楽館では椎名施設長、杉山氏(日立市スポーツ協会案内員)、「認定 NPO 法人 共楽館を考える集い」佐藤代表及び大畑副代表

- 日鉱記念館にて、日立鉱山と工業都市・日立の発展を映像・パネルと展示物で歴史を学んだ
- 旧共楽館(日立武道館)では、椎名施設長挨拶、杉山氏より旧共楽館の由来、大煙突の誕生秘話、佐藤代表、大畑副代表より 館内の特徴、館外では建築様式の説明があった。(昼食は旧共楽館 2 階)
- 日立オリジンパークでは、最新の映像システムによる、日立製作所の技術発展の歩み、将来への展望、時代別の製品が展示されている小平記念館、創業小屋を見学した。

施設見学の概要

○ 日鉱記念館は、1985(昭和 60)年の創業 80 周年を記念し、日立鉱山跡地に建てられた、日立鉱山の歴史を展示した産業資料館です。日立鉱山は、創業者・久原房之助が赤沢銅山を買収し、日立鉱山として開業して以来、閉山までの 76 年間、わが国の近代化と経済成長に寄与してきた。展示内容には、その成長から閉山までの軌跡とともに環境問題の金字塔と言われる世界の大煙突や、坑内の様子、鉱山都市の暮らしの様子を映像・パネルで展示している。



○ 共楽館は、日立鉱山の福利厚生施設として 1917 年(大正 6 年)に完成した劇場です。この劇場は、建設開始時は大雄院劇場と呼ばれており、当時の新聞では鉱山技師が東京の帝国劇場、歌舞伎座などの劇場を視察した上で設計したものと報道されている。建物は西洋の建築技術を取り入れた日本の伝統的な建築意匠を配した、和洋折衷の大型木造建築物である。歌舞伎の上演を想定して建設したため、館内には回り舞台と大型格納型の花道があり、2 階には棧敷席があった。館外では建物全体に和風の大屋根が被せてあり、正面には千鳥破風を構える特徴ある建造物となっている。



○ 日立オリジンパークは、「小平記念館」「創業小屋」「大みかクラブ」「大みかゴルフクラブ」からなる、日立製作所の原点と歩みを紹介する新たな施設です。中でも「小平記念館」は日立が 1910 年の創業以来伝承してきた企業理念や創業の精神である和・誠・開拓者精神を胸に、社会課題解決へ挑戦し続けた歴史を、地域の皆さまにも知っていただける展示となっている。



さらに、これからの「社会課題を共に考える場」として、参加体験型のシアターを設け、これまでの展示テーマを振り返り、将来への想いを寄せる展示を実現している。

また、日立の原点である「創業小屋」を、創業の精神を未来へ伝えるシンボルとして再復元している。

参考文献: ・フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』・日立市観光「日鉱記念館」ホームページ

・日立製作所ホームページ「日立オリジンパーク」



日鉱記念館記念撮影



日鉱記念館ビデオ説明



日鉱記念館見学の様子



旧共楽館記念撮影



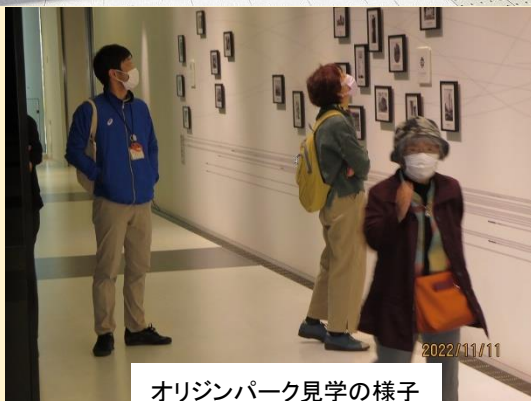
旧共楽館館椎名氏挨拶



オリジンパーク記念撮影



昼食時大畑氏の説明



オリジンパーク見学の様子



旧共楽館館内説明